

(3) ビューティーメイクコース

教科科目	科目の特長	科目の目標
接客マナー	社会人としての常識を身につけ、人との絆、人間関係のあり方を築くことの大切さを学び、魅力ある社会人としてのマナーを習得する。	自己表現力、立ち居振る舞い、言葉づかい、手紙の書き方の習得を目標とする。
デッサン	デッサンとは何かを知り、観察力・想像力を養い、それを表現する力を身につけることにより、メイクアップ技術向上のための基礎力を培う。	人体のクロッキー、人体・顔の比率、模写、立体感、質感・量感の技術を習得する。
心理学	心理学についての基礎となる部分について学び、人のこころのあり方についての理解を深める。日常の対人場面で応用できるよう、具体的な例を挙げ修得する。	心理学の基礎知識を学び、対人場面にも応用が可能となるように、心理学的な視点を獲得することを目標とする。
メイクⅡ	メイクアップ技術者として必要なマナーをふまえた基本技術を身につけ、JMA日本メイクアップ技術検定協会セルフメイク検定試験内容に関する知識と技術を習得する。顔の分析方法を理解し、自分自身のメイクアップを仕上げるプロセスを身につける。	JMA日本メイクアップ技術検定協会セルフメイク検定試験の合格を目標とする。
メイクⅣ	「メイクⅠ」「メイクⅡ」で習得した知識・技術をもとに、モデルの顔分析を行った上でのイメージ表現を学び、国際的に通用するメイクアップアーティストに求められる知識・技術を習得する。	IBF国際美容連盟国際メイクアップアーティストライセンス認定試験の合格を目標とする。
メイクアドバンスⅠ	「標準のプロポーションに則したバランスフルメイクとメイクアップベーシック知識」「知識・カウンセリング・アドバンスを前提としたコミュニケーションとイメージメイク」に関する知識と技術を習得する。	JMAメイクアップ技術検定2級試験2級・1級の合格を目標とする。
メイクアドバンスⅡ	メイクセラピーにおけるメイクアップは「印象を変えるメイク」であり、日常生活をプラスへと変化させる。「なりたい自分になるためのメイクアップ」を提案するために、心理カウンセリングや色彩学、印象分析理論などを学ぶ。	日本人材教育協会メイクセラピー検定3級・2級の合格を目標とする。
ブライダルⅠ	ブライダル業界で求められる実務知識や技術(主にヘアの基礎知識やヘアアレンジ)を、講義と実践を通じて習得する。	ブライダルに関する基礎知識や基礎技術の習得を目標とする。
ネイル理論Ⅱ	イクステンション理論(アクリル、ジェル)を理解し、検定内容技術につなげる。また、NPAAテクニカルアート検定の受験内容である「サロンが求めるアート」フレンチ、グラデーション、チェック、フラワーデザインを中心にベーシックデザインの技術を修得する。	I-NAIL-Aジェルネイル技能検定試験2級、I-NAIL-Aジェルネイル技能検定試験SA級、NPAAテクニカルアート検定3級、I-NAIL-Aジェルネイル技能検定試験1級試験合格を目標とする。
ネイルⅢ	ネイル関連検合格のための授業:個人により受験級、受験内容が異なるため個人目標に応じて進める。 サロンメニュー授業:サロンの通常業務で不可欠な技術を習得する。	ネイル関連検定の合格。サロンメニューのイクステンションネイル、マシンテクニック、エアブラシ技術の習得を目標とする。
ネイルアート	毎回新アートを習得する。授業内で約40種類のアートを習得する。そして、サロンメニューに対応できる技術力を磨く。	サロンワークで需要の高いアート、またネイリストとしてできなければいけないアートを完全に習得することを目標とする。